



2010 年. 1. 25 発行
平成 21 年度第 2 号

会長挨拶

津支部 伊藤 和夫

皆さん新年明けましておめでとうございます。昨年中は本会事業推進に多大なご指導、ご協力ありがとうございました。

昨年の政権交代で民主党政治に少しは期待したものの、なかなか先の読めない政治の混迷と、世界同時不況からあまりいい話は聞こえてまいりません、無駄を無くすと言う目的で行われた行政刷新会議で柔道整復師の療養費のことが取り上げられ、会員の先生方にも大変不安を抱かれたことと思います、これは以前から問題になっている不正請求や、新聞報道で問われている多部位施術の事がきっかけに、取り上げられてしまったものだと思います。又、養成校、柔道整復師の数の多さまでもが問題になっていました。今日整では養成校の問題、柔道整復師の問題、卒後臨床と開業権の問題、療養費の協定等の問題に取り組んで、厚生省等と勉強会が行われています、まだ水面下のことで色々調整中であると同っております。

今年からは社会保険局がなくなり、支払い基金と国保連合会が統合され審査会も大きく変わるかもしれません、柔整も窓口の一本化を要求されております我々社団も公益法人になれば、公益社団の窓口を通らないと療養費の請求ができなくなる日も来るのではないかと期待しております。

平成 20 年 10 月社会保険局から東海北陸厚生局に代わり指導強化が鮮明になってまいりました、20 年に続き 21 年は 5 名の個別指導と聞いております、今後は毎年数名の個別指導が間違いなく始まるでしょう、先生方も、いつ何時でも個別指導の指名が受けられるように、施術録をしっかりと整理しておいて下さい、少しでも不備があればすぐ監査に変わると思います。昔の社会保険局の時とは違います、厚生局対先生個人で本会が介入することは出来ません。自分で提出された申請書類は全て先生自身の責任で対応しなければなりません。

本会の会訓を遵守し真面目にほねつぎ道に励んでください。

新年から大変厳しいことを書き連ねましたが、先生方、ご家族様にはご健康とご多幸を祈念し年頭のご挨拶とさせていただきます。今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

協同組合理事長挨拶

伊勢支部 伊藤 宣人

新年あけましておめでとうございます。

アメリカのサムプライム問題から始まり、世の中は一向に景気の良くない状態が続いています。昨年 12 月には、円高、ドル安がピークに達して政府もとうとうデフレ宣言をしたところです。加えて昨年の夏以来、新型インフルエンザが猛威を振るい何かと暗いニュースが続きました。

われわれ、医療の世界においても景気低迷の影響がかなり出ているようです。

ちなみに本会の療養費についても、昨年 4 月からのデータを見てみますと、総療養費 8 月は 7 月と比較しますとマイナス 10.4% また、9 月～10 月は 1.5%～1.9% 微増で 11 月は 10 月に比較して、またマイナス 10.0% と大きく割り込みました。

これまでと違い忙しい時期に患者が増えずにむしろマイナスとなり気になるデータが出ています。

これとても新型インフルエンザ、不景気の影響を大きく受けているのではないのでしょうか。そんななかで、協同組合としても出来る限り衛生材料等、協同購買を含め安く購入できるように努力をして参りたいと思っています。さらに、今年度は、業務に関する研修会も積極的に取り組んで行く所存でございます。

どうかご指導、ご協力の程、宜しくお願い致します。

先生方のご多幸とご健勝をこころよりお祈り申し上げます。

保険担当副会長挨拶

伊勢支部 伊藤 宣人

原点と躍進

先生方におかれましては健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、これまで長く続いた自由民主党から民主党に政権が変わり、多くの国民が求めたものは、長期マンネリ化政治に変化を求めた結果ではないでしょうか。また、昨年 11 月に行われた行政刷新会議のなかで、国の予算を決めるため全ての無駄を見直す事業仕分けが行われたことは記憶に新しいところです。

我々の関係する国庫金支出についても議論され、柔道整復師療養費の問題も取り上げられました。この事は、一部、心ない柔道整復師の不正問題がメディアに取り沙汰され、業界全体の信用が失墜し、問題ありとして事業仕分けのなかに取り入られた事も否めない事実です。負傷部位数における多部位の問題、増え続ける柔道整復師に関する養成学校の増加等がどのような審議され判断されて行くのか経過をみていかなければなりません。いずれにしても我々にとって大変厳しい状況にあることには間違いありません。

このようななか、柔整養成学校の乱立によって送り出される多くの柔道整復師の質の低下が非常に懸念されています。資格さえ取れば柔道整復師には違いないのですが、陶犬瓦鶏のことわざの例えにありますように、形ばかり立派であっても作り物の犬や鶏ではその役目を果たせないこと。名前だけの柔道整復師では意味がありません。基本に立ち返り受領委任制度の歴史的背景の重要性、保険取り扱いのルールの遵守、外傷（骨折・不全骨折・脱臼）をいかに取り扱って行くのか、また、棲み分をしっかりと守り医接連携を密に行う事が我々の職域を守る最大の原点ではないでしょうか。

本会の新法人移行につきましては、現在、特例民法法人という形で位置付けられ平成 25 年を以て公益法人に移行しなければなりません。よく質問をされる事がありますが、公益法人のメリットは？と聞かれます。公益法人のメリットは社会的信用がある事、つまり任意団体と公益法人の違いは信頼度にあり、不特定多数の人に利益（良いこと）を与える。その事により会員などの増加につながると私は考えております。

現在、「公益社団法人」の移行認定申請に向けて組織・事業の見直しを徹底的に行っています。皆様のご理解ご協力を頂きながら平成 28 年を目途に努力をして参りたいと思っております。どうか一層のご指導とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

新しい年が諸先生方の一段と飛躍の年になりますことを祈念申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。

総務部長挨拶

四日市支部 小柴 徳太郎

禪をしめる

新年あけましておめでとうございます。

総務担当の命を受けまして、執行部の先生方や会員の先生方のご指導とご協力を頂きまして何とか新年を迎えることが出来ました。心から感謝を申し上げます。

理事として職務の執行をさせていただきました九ヶ月の間、会内の状況は大過なく無事新年を迎えることが出来ましたが、社会情勢は政権交代という想像を絶する変革が起こりました。最近のマスコミやネット上では「受領委任払い」「保険料金の問題」「柔道整復師の不祥事」等、様々な問題が注目されております。この様な状況下での民主党が行なっている事業仕分けはどのような飛び火となって降りかかるか想像が出来ません。われわれは法的には非常に弱い立場です、弱いものは集団となって結束した行動力で示すしか表現できません。今まで我々の後ろ盾でもありました自民党・公明党は選挙で惨敗し窮地に立っています。今夏には参議院選挙を控えており是非一人でも多くの会員先生方が行事に参加され結束の力を示す事が必要かと思えます。今後は公益法人の許認可を得る事と世情の逆風を跳ね返す為のお知恵を会員の先生方から頂いて結束を図ることが総務の仕事と心得ます。今こそ一致団結し行動をしなければ成らない危機が迫っていることを自覚して禪を締めなおす時がきました。本年も宜しくお願い致します。

学術担当副会長挨拶

鈴鹿支部

豊田 長億

会員の皆様、新年おめでとうございます。今年もどうぞ宜しくお願いします。

さて昨年11月8日(日)四日市市文化会館にて開催されました(社)日本柔道整復師会第44回東海接骨学会三重大会は会員の皆様を始め、準備役員、研究発表の栗田会員、中部学会セミナーの永田会員、田島会員、事務職員さんの協力のもと、成功裏に修了することができました。これもひとえに会員の皆様一人ひとりのご協力の賜物と厚くお礼申し上げます。また平成22年10月の学術・保険研修会もまた実技を取り入れたく考えておりますのでご協力を宜しくお願いします。更に平成23年度は日整実技研修会の発表担当県となっております。2年弱の準備期間がありますので、発表をご希望の先生は当方までご連絡ください。

次に会員の皆様には既にご存知のかたも多く見えると思いますが、また始めて目にした会員の方も座右の肝としていただきたい言葉があります。

- 一、 正しい診断
- 二、 正しい施術
- 三、 正しい請求
- 四、 正しい納税
- 五、 社会に貢献

これは本会5代会長 故服部範孝先生の時代からの会訓ですが、最近このことがなござりになっていないでしょうか。私たち柔道整復師の医療保険の受領委任払い制度は先達のたゆまない努力により今日に至っておりますが、今一度この五箇条を再認識していただき、次の世代(後世)へ繋げる柔道整復師になろうではありませんか。

また昨年は民主党を中心とした政権が変わり11月末の行政刷新会議なるものが行われ我々柔道整復師にも厳しい政策が表示されました。それにより今年6月には料金改定が行われようとしています。そうした状況に対し公の場において毅然とした態度で断固として意見を言う団体でなければなりません。会員の皆様の温かいご指導、ご支援を切にお願いしまして新年の挨拶とさせていただきます。

柔道部長挨拶

伊勢支部

橋本 誠

会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。年頭に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

例年のごとく、本会の事業(柔道関係)にご協力いただきありがとうございます。皆様のおかげで、県下少年柔道大会をはじめ、東海ブロック少年柔道大会、日整全国少年柔道大会と無事に終える事ができました。まして、東海大会では、4年生男子で優勝、全国大会では、一昨年完敗した奈良県を破り、全国ベスト16入りという好成績を残し、私自身非常に嬉しく思っております。また、救護に関しましても、これといった大事に至る事故もなく今日までまいりました。ご協力していただきました諸先生方には、心よりお礼申し上げます。最近、私が、あるテレビドラマを見て感銘した事があります。それは、現在『すぐ腕』だと言われている医師が江戸時代にタイムスリップしてしまい、その時代の中で医療機器、設備、薬もない状況で、医師として治療に当たっていき、民衆を助けていくドラマです。そのドラマの中で、医師が豊富な知識を持ちながら、なかなか満足な治療を行えず、何故だと考えた時、『すぐ腕』だと言われてきたのは、自分だけの努力ではなく、長い年月をかけて医療に従事してくれた諸先輩方々の研究、工夫、努力によるものだという事に気づいてゆきます。今のこの腕のある自分があるのは、先人のお陰だと感謝しなければいけない事に気付きます。昨今の柔道整復師を取巻く環境は非常に厳しいものです。政権交代による行政刷新委員会の中では、柔整師の風当たりも強く、まして心無い一部の柔整師によるおそまつな不祥事も多く、ますます厳しいものが予測されます。前述した様に、柔道整復師もまた、諸先輩方々が長い年月をかけて築いてくださったものだと思います。それをふまえて、私達会員も三重県柔道整復師会を守るべく、会員相互が協力し合っていく事が大切だと考えておりますので、会員の皆様よろしくお願い致します。

経理部長挨拶

伊賀支部 西口 二三雄

新年明けましておめでとうございます。経理担当の西口でございます。昨年は会員皆様の会に対するご理解とご協力に心より感謝いたします。昨年を一言で言うと「変化」の一年でした。アメリカや日本における政治的、経済的な変化が実感として感じられる昨今、新聞・テレビはこの「変化」の影響を声高に喧伝し、過敏に反応する世間はまさに生き馬の目を抜く様な状況を呈し、誰もが我先にチャンスを手にしようと必死になっているようです。しかし我々の本分とは何でしょうか。柔道整復師の役割は地域に根ざし、地域医療の発展と充実に寄与することでは。世の流れに逆らっても守るべきものがあると私は考えますし、仕事とはそういう根幹の部分がなければ継続はないのだと痛感しております。患者の皆さんと安心して暮らしていける場所作りに会員皆様の「自他共栄」の気持ちをお借りし、更なる自歩の一步を踏み出せるよう共に頑張って参りたいと考えております。

広報部長挨拶

桑名支部 伊藤昌夫

新年明けましておめでとうございます。
本年もよろしくお願い致します。

広報部としましては、種々の情報を的確にお伝えできるようにと、思っております。

インターネットご利用できる方は、IT 委員会のご尽力により最新の情報を本会ホームページにて順次更新しておりますので、ぜひご覧下さい。

また、より良い誌面作りのため身近なことから結構ですので、会員皆様からのご意見・ご投稿をいただけます様、お願い申し上げます。

介護保険部長挨拶

桑名支部 加藤 進

新年あけましておめでとうございます。

三重県の高齢者人口同行について申しますと、65 歳以上の高齢者人口は、平成 12 年に 6,699 人、高齢化率 17.6%であったものが、平成 20 年には 8,454 人、高齢化率 20.8%と 3.2 ポイント上昇し、確実に高齢化が進んできています。

平均寿命について言えば更なる延伸により 65 歳以上高齢者人口に占める 75 歳以上の後期高齢者の割合（後期高齢化率）も、平成 20 年度で 46.0%となり、介護が必要となる可能性が高い後期高齢者についても年々増加の一途をたどっている状況です。

また、三重県の後期高齢化率は平成 17 年国勢調査で 21.5%となっています。が予想以上に高齢化は進んでおります。また、高齢者のいる 2 世代以上の同居世帯は、平成 12 年の 4,341 世帯から平成 17 年には 3,42 世帯と約 900 世帯減少しており、社会の高齢化は確実に進む中で、核家族化も更に進んでいる。高齢者を取り巻く状況はますます厳しくなっていくと思われます。

現在の施設入所の待機状況を踏まえると、住み慣れた家で身近なサービスを、昼夜問わず受けることができる地域密着型サービスを整備し、老々介護を行なっている高齢者世帯や単身世帯の在宅生活を支援していく必要が高まっています。

今回の厚労省の特定高齢者地域支援事業について利用者が伸びず、効果なしという判定でした。

また、桑名市介護高齢課に尋ねたところ、今のところ介護予防通所介護事業所等で介護予防事業（運動機能向上・閉じこもり防止・口腔機能向上・栄養改善等）は展開されるようです。

IT委員長挨拶

鈴鹿支部

岩本 嘉生

新年明けましておめでとうございます。

昨年より、社団法人の公益化に伴い電子メディアによる一般社会への情報公開と言う必要性に応じ、業者をお願いして、ホームページを作成一新しました。

まだまだ、掲載内容の乏しさを感じておりますが、今年度は、会員の情報の場として、活用、閲覧して頂けるよう、広報部長伊藤昌夫先生、IT委員服部和人先生のご協力を頂きながら、過去の多くのデータや最新のデータ情報、動画、画像の収集し、多くの皆様に利用して頂けるホームページ作りに取り組んで居ります。

IT委員長として、会のコンピューターを管理させて頂いておりますが、何分、独学で対応していますので、どのような形のホームページが使いやすいか、どのようなものを載せれば良いのか、試行錯誤しております。また、会員の専用ページの必要性など、今後の課題が多く残っております。

会員の皆様、特に新しいメディア利用の得意な若い会員（意識の若い会員を含む）には、是非、ご意見、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

募 集 中

- ・ 各地区のイベント情報、スポーツ、お祭り、地区独自の催し、自慢のスナップ写真、ビデオ動画など
- ・ パソコンの活用法、お気に入りホームページ、インターネットの活用法、思い付き、なんでも募集

会員の皆様の新しい活用法を含め、ご意見ご要望を事務所（担当 高山）へお寄せ頂き、私達のホームページとして、より利用活用できるものにして行きましょう。

※ 本会新ホームページ : <http://www.miejusei.com/>

※ 本会新メールアドレス : info@miejusei.com

会務・会長執務報告

(平成21年度8月～平成21年度12月まで)

月	日	曜日	本 会 事 業	月	日	曜日	会 長 執 務
8	7	金	申請書提出・本会保険審査会	8	30	日	東海ブロック会長会・柔道部長合同会議 愛知県
	13	木	労災保険審査会				全国大会選手・審判激励会 奈良県
	19	水	協会健保保険審査会				奈良県社団周年記念式典
	25	火	国保審査会				
9	6	日	第5回理事会・保険研修・柔道練習	9	13	日	卒後臨床研修開講式 愛整会館
	7	月	申請書提出・本会保険審査会				
	10	木	労災保険審査会				
	16	水	協会健保保険審査会				
	29	火	国保審査会				
10	4	日	学術保険研修会		11	日	第17回日整生涯学習講習会・会長会 日整会館
	7	水	申請書提出・本会保険審査会		12	月	第18回日整全国少年柔道大会 講道館
	8	木	労災保険審査会				第33回日整全国柔道大会
	18	日	第6回理事会				
			第46回三重県実業柔道大会				
	21	水	協会健保保険審査会				
	27	火	国保審査会				
11	1	日	平成21年度中間監査	11	7	土	東海接骨学会・中部学会準備 四日市市文化会館
	6	金	本会保険審査会		8	日	第44回東海接骨学会 愛整会館
	12	木	労災保険審査会		15	日	卒後臨床研修閉講式 大阪国際交流センター
	18	水	協会健保保険審査会		22	日	日本柔道整復接骨医学会 愛知県
	25	水	国保審査会		29	日	愛知県社団周年記念式典 日整会館
12	7	月	申請書提出・本会保険審査会	12	6	日	全国IT担当者会議
	10	木	労災保険審査会				
	16	水	協会健保保険審査会				
	25	金	国保審査会				

平成21年度 理事会報告

《第4回理事会》

日時	：	平成21年7月12日（日）
場所	：	三重県柔整会館 定足数11名
出席者	：	伊藤（和） 伊藤（宣） 豊田 梶田 加藤 橋本 小柴 西口 伊藤（昌） 山本 任田 オブザーバー（顧問） 加藤（正） （監事）小川 亀山
報告事項	1	国保・労災・公的・自賠報告
	2	全国介護保険担当者会議報告
	3	介護事業所の廃止について
	4	第51回通常総会報告について
	5	県下少年柔道大会・東海ブロック柔道大会報告
	6	平成21年度柔道整復師の施術に係る指導・監査実施計画の打合せについて
	7	日整通常代議員会・総会について
	8	第44回東海・第91回中部接骨学会について
審議事項	1	会員の総会及び意見交換会への積極的な参加促進について
	2	香典の金額・会葬御礼及び香典返しを会員相互間の中では禁止（自粛）について
	3	総会書記の手当について
	4	新公益法人移行・委員会開設について
	5	第44回東海・第91回中部接骨学会について
	6	「事務連絡・各部連絡・情報等のメール配信」のアンケート実施について
	7	日整ゴルフ大会について
	8	米田セミナーの参加について

《第5回理事会》

日時	：	平成21年9月6日（日）
場所	：	三重県柔整会館 定足数11名
出席者	：	伊藤（和） 伊藤（宣） 豊田 梶田 加藤 橋本 小柴 西口 伊藤（昌） 山本 任田 オブザーバー（顧問） 加藤（正） （監事）小川 亀山
報告事項	1	国保・労災・公的・自賠報告
	2	第3回日整大阪学会について
	3	奈良県柔道整復師会 社団設立35周年記念式典について
	4	日整全国少年柔道大会・日整全国柔道大会について
	5	日整学術ブロック担当者会議について
	6	第44回東海・第91回中部接骨学会 展示室の間取りについて
	7	柔道整復師施術所に勤務する柔道整復師について
	8	社団法人介護事業所法人移行状況について
審議事項	1	緊急連絡網について
	2	平成21年度学術保険研修について

《第6回理事会》

日時	：	平成21年10月18日（日）
場所	：	三重県柔整会館 定足数11名
出席者	：	伊藤（和） 伊藤（宣） 豊田 梶田 加藤 橋本 小柴 伊藤（昌） 山本 任田 オブザーバー（顧問） 加藤（正） （監事）小川 亀山
委任状	：	西口
報告事項	1	学術保険研修会出席報告
	2	国保・労災・公的・自賠報告
	3	第44回東海・第91回中部接骨学会について
	4	日本柔道整復接骨医学会 平成21年度 第2回評議会・総会について
	5	福祉有償運送従事者講習会について
	6	近畿ブロック学会について
	7	日整全国少年柔道大会・日整全国柔道大会報告
	8	日整全国IT担当者会議について
審議事項	1	平成22年度事業計画（案）・予算（案）並びに、各部の編成（案）について
	2	事務所について
	3	弥生会計講習会について

今後の事業日程

月 日 曜日			本 会 事 業			月 日 曜日			日 整 ・ 東 海		
平成22年						平成22年					
1	6	水	申請書提出	本会会館 本会会館 本会会館 ホテルグリーンパーク ポルタ久居 三重労働局 自治会館	1		東海ブロック会会長会		愛知県		
	7	木	本会保険審査会								
	10	日	第7回理事会 新春意見交換会								
	13	水	協会健保保険審査会								
	14	木	労災保険審査会								
	27	水	国保審査会								
2	4	木	労災保険審査会	三重労働局 本会会館 本会会館 ポルタ久居 本会会館 自治会館	2	6	土	東海ブロック会会長会・中部接骨学会合同会議 宮崎周年記念 東海ブロック会正・副会長会・予算理事会	愛知県 宮崎市 愛整会館		
	5	金	申請書提出								
	8	月	本会保険審査会								
	18	木	協会健保保険審査会								
	21	日	第8回理事会・保険研修								
	26	金	国保審査会								
3	5	金	申請書提出	本会会館 本会会館 三重労働局 本会会館 ポルタ久居 三重県人権センター 自治会館	3	5	金	中和医療専門学校卒業式 米田柔整専門学校卒業式 関東ブロック学会 日整臨時総会	中和医療専門学校 米田柔整 さいたま市 東京		
	8	月	本会保険審査会								
	11	木	労災保険審査会								
	14	日	第9回理事会								
	17	水	協会健保保険審査会								
	21	日	第52回通常総会（予算）								
	26	金	国保審査会								

第28回東海ブロック会柔整師柔道大会

第6回柔整師杯東海少年柔道選手権大会

平成21年7月26日（日）愛知県半田市の青山記念武道館にて標記の大会が開催された。セミの大合唱の中、午前11時より少年柔道大会が開始され、小学校4・5・6年生の学年・男女別個人戦6部門に東海四県から各県上位4名ずつの参加により、繰り広げられた。中には身長175cm超、体重90kg超と、とても小学生とは思えない選手も見受けられ監督、指導者、父兄らの熱い声援の中試合が進められた。引続き午後からは柔整師大会が開催され、試合に先立ち選手・役員・ギャラリー全員参加の[健康柔(やわら)体操]で体をほぐした後、試合開始。会員の応援・試合の終わった子供たちの黄色い声援多数の中、対岐阜県、対静岡県、対愛知県と試合が進み、何れも接戦の末、1勝2敗で4位の結果となった。三重県関係分以下の通り。

●少年柔道大会結果（3位以上）

4年生男子 山科良悟 優勝
5年生男子 山口陸人 3位
6年生男子 並木泰雅 3位

●東海ブロック会柔道大会表彰者

◎日整全国柔道大会

5回以上出場 橋本 寛 5回出場

◎東海ブロック会柔道大会

10回以上出場 橋本 寛 10回出場

◎東海ブロック会柔道大会

5回以上出場 伊藤征彦 5回出場

三重県チーム		対戦成績	順位	
監督	橋本 誠	三重県 1-0 岐阜県	優勝	愛知県
大将 50代	中井孝好	三重県 1-2 静岡県	2位	静岡県
副将 40代	橋本 寛	三重県 0-1 愛知県	3位	岐阜県
中堅 30代	伊藤孝彦		4位	三重県
次鋒 30代	西岡正訓			
先鋒 20代	田端隆宣			

●大会優秀選手 伊藤孝彦

●10月12日（月・祝）に講道館で開催の第33回日整全国柔道大会に、本会から東海西部代表として中井孝好会員、伊藤孝彦会員が出場されます。

平成21年度・学術研修会・保険集団指導会

平成 21 年 10 月 4 日 (日) 午前 10 時より津アストホールにおいて、平成 21 年度・学術研修会・保険集団指導会が開催された。小柴徳太郎総務部長の司会のもと伊藤宣人副会長開会の辞に引続き、伊藤和夫会長の挨拶後、全国健康保険協会三重支部より、申請書の問題点と注意事項・三重県国民健康保険団体連合会より、国保申請書の取り扱いについてご指導いただいた。新公益法人移行について 本会顧問公認会計士 伊藤隆先生より新公益法人移行スケジュール案、会計面での説明、本会顧問弁護士 富田俊治先生より定款変更面での説明、伊藤宣人副会長の 3 名によるディスカッション形式で進められ、先進県・神奈川県の定款に習って変更案が示された。

昼食をはさみ午後より 保険部よりお知らせ、伊藤宣人 保険担当副会長から不正請求等の問題、健康保険組合の対応、施術録整備のポイント中心に説明が有った。会員発表、実技研修会では 11/8 東海・中部接骨学会発表 栗田正典会員による「競技ドッジボールにおける、手指 DIP 関節損傷の発生頻度及び受傷機転に関する調査」と題して発表が有った。その後実技研修「顎関節脱臼あれこれ」では、内藤将善会員、山出美材会員より口内整復法が披露され、それに関連して五島清志会員から口外整復法が紹介された。演者と会場が一緒になってディスカッション方式を取り入れた実技研修の会となった。

特別講演では、了徳寺大学 健康科学部 整復医療トレーナー学科・学科長 大澤裕行教授による『柔整日常施術におけるピットフォール』と題して講演が行われた。先生ご自身の豊富な経験・失敗例を織り交ぜ上肢中心にお話いただいた。冒頭で最近の医療現場での変遷、「患者中心医療」「医療訴訟の話題」後、今の柔整師にとってのピットフォールは「微細外傷の見逃し」・「思い違い」・「傷病の軽視」・「勉強不足」・「過信」・「医療行為の過失」・「説明義務違反」・「患者の自己決定権の侵害」を挙げられ、対応としては「日々の医療学習と研鑽」・「慎重な診療姿勢」・「インフォームドコンセントの徹底が必要」と述べられた。

「柔道整復は、継承すべき日本の文化遺産。」とのお言葉もいただき、我々も勇気付けられた。講演終了時には、自然と沸きあがった盛大な拍手が鳴り止まなかった。

日常施術における身近な症例ばかりで、非常に身の引き締まる講演であった。

最後に豊田長億副会長が閉会の言葉で締めくくり充実した 1 日が終了した。

第18回文部科学大臣杯争奪 日整全国少年柔道大会 第33回厚生労働大臣争奪 日整全国柔道大会

平成 21 年 10 月 12 日 (月・体育の日) 東京講道館大道場において第 18 回日整全国少年柔道大会が開催された。午前 9 時より開会式後小学生 2 組による「投の形」演武に引続き試合開始された。2 回戦より登場の三重県チームは奈良県チームと対戦 5 名すべて引き分けで代表戦となった。これも共に有効ポイント 1 つずつで旗の判定となり赤旗 3 本の優勢勝ちで 3 回戦に進んだ。3 回戦は東京 A チームと対戦し、これも 1-1 で、またしても代表戦となり大接戦の末惜しくも白旗 3 本で敗退となった。敗れたものの選手たちには、この悔しさをバネに再チャレンジを期待する。決勝戦は、兵庫県チームが接戦の末、愛知県チームを下し優勝した。この模様は、12 月 13 日 (日) NHK-BS2 で「くやしかったら強くなれ」として放送される。

試合結果県関係分

2 回戦 三重 0 - 0 奈良 代表戦 ○三重 優勢 奈良 (3 回戦へ)
3 回戦 三重 1 - 1 東京 A 代表戦 ○東京 A 優勢 三重 (敗退・ベスト 16)

平成 21 年 10 月 12 日 (月・体育の日) 講道館大道場において午前の日整全国少年柔道大会に引続き午後開催された。開会式で各表彰の中、橋本覚会員が功労表彰 (5 回出場) され「柔の形」演武後試合開始。東海西部代表として三重県からは、大将 中井孝好会員 次鋒 伊藤孝彦会員が出場したが、1 回戦で近畿代表に惜しくも敗退した。

決勝戦は、東京 A が南関東を下し優勝した。

試合結果県関係分

1 回戦 近畿 2 - 0 東海西部 (敗退)

第46回三重県実業柔道大会開催

平成 21 年 10 月 18 日(日)鈴鹿市武道館において「第 46 回三重県実業柔道大会」が開催された。

開会式では本会の永年の支援協力に対し、三重県実業柔道連盟より感謝状が贈呈された。

団体戦には、県内各地より 10 チームの参加があり、本会からも伊藤孝彦会員、西岡正訓会員、五島清貴会員、川崎洋平先生、船越将吾先生(共に堀望会員の接骨院勤務柔整師)が出場し 1 回戦勝利し、2 回戦に臨んだが、松阪市武道館柔道教室チームに惜しくも敗れた。

本会より鈴鹿支部の会員 2 名が救護担当で参加した。試合中左肩関節脱臼の選手もいたが適切な処置で整復固定された。

第44回東海接骨学会・第91回中部接骨学会開催

11 月 8 日(日) 三重県四日市市文化会館にて、第 44 回東海接骨学会・第 91 回中部接骨学会が、穏やかな晴天の下、会員・学生ほか 611 名の参加により開催された。

開会式では、伊藤和夫 東海接骨学会会長の開会のことばに始まり、萩原正 (社) 日本柔道整復師会会長、米田實 中部接骨学会会長よりあいさつがあり、ご来賓では三重労働局局長代理 労働基準部長 鈴木麻里子様、高山精雄 (社) 全国柔道整復学校協会顧問、学校法人杏文学園東京柔道整復専門学校理事長より、心のこもった御祝辞を頂戴した。

開会式に続き 11 題の会員研究発表が行われた。

本会からは、桑名支部の栗田正典会員が「競技ドッジボールにおける、手指 DIP 関節損傷の発生頻度及び受傷機転に関する調査」として発表した。

午後からは、横山幸浩 名古屋大学医学部腫瘍外科講師による「柔道整復師から肝胆膵外科医への道のり」と題し特別講演があった。先生の中で一貫している信念として「自分が知らないこと、解らないことを学んでみたいという強い願望」「自分自身の限界への挑戦」を挙げられた。大学工学部卒業後、中部柔整専門学院(現米田柔整)入学・卒業、接骨院実習後、大学医学部入学・卒業、研修後のアメリカ留学、41 歳で生物学博士号取得、現在に至るまでの異色の道のり、アメリカでの経験を生かし臨床医学と基礎医学の架け橋となるような仕事を続けて行きたい等、先生のお考えを織り交ぜての現代医療の現状と問題についてお話いただいた。

その後、中部接骨学会セミナーが開催され、「スポーツ外傷・障害 一少年野球肘について」セミナー準備委員会より報告があった。

閉会式では、永田官久 東海・接骨学会副会長の閉会のことばにて終了した。



閉 会 式



特別講演 横山 幸浩先生

平成22年新春意見交換会開催

広報部長

伊藤 昌夫

平成 22 年 1 月 10 日(日)ホテルグリーンパーク津、「伊勢安濃の間」において、「平成 22 年新春意見交換会」が開催された。午後 1 時より、伊藤宣人副会長 開会の言葉に続き、各部からのお知らせ、保険部からのお知らせがあった。冒頭伊藤和夫会長が開会の挨拶で、政府の行政刷新会議での柔道整復師の療養費見直しなど、最近の柔道整復師を取り巻く厳しい状況や、公益法人化に向けての取り組みに関して説明し「暗い話題が多いが自立・自浄努力で地域活性化し、活力のある明るい年になりますように。」と述べられた。その後

- ① 豊田学術担当副会長より、昨年 11 月 8 日(日)地元四日市市で開催された第 44 回東海接骨学会・第 91 回中部接骨学会のお礼・報告、平成 22・23 年の学会予定等。
- ② 橋本柔道部長より、昨年の各柔道大会報告、今年の予定等。
- ③ 岩本 IT 委員長より、メール配信、本会ホームページについて。

など各部からのお知らせがあった。

引き続き伊藤宣人保険担当副会長より、保険部からのお知らせとして、船員保険変更の件、申請書提出時の綴り方の件等の説明があり、会員からの質疑応答にて終了した。

午後 3 時から、意見交換会に移り、伊藤和夫会長より挨拶があり続いてご来賓の田村憲久 衆議院議員、坂口力 衆議院議員、三ツ矢のりお 衆議院議員より国会の状況・事業仕分け・景気の見通しなどを織り交ぜたお言葉を、中嶋寛(社)三重県医師会会長より、自民党の捲土重来を期待するなど、のお言葉を頂戴した。橋本佳幸(社)岐阜県柔道整復師会会長の乾杯のご発声後、ご来賓・会員は意見交換を深め、協同組合より提供の抽選会で盛り上がり、加藤正一 本会顧問の万歳三唱、豊田長億副会長の閉会の言葉をもってお開きとなった。

新年に向けて

伊賀支部

坂本 一彦

昨年のいわゆる第二組合のレセプト立替による不正な柔道整復師の団体の事件に対して読売新聞の記事には「・・・水増し請求や多部位を推奨する団体もある・・・」とまるで、すべての柔道整復師も同じような団体であるかのように書かれてありました。朝日放送ではこのような団体は必要ないとK氏が悪の団体のように中傷されていました。みなさんはこのような事態に大変心を傷められたと思います。もうかれば良しとした他団体の問題ではもはやすまされません。『柔道整復師』は世界保健機構WHOが認めている素晴らしい団体です。先輩方の血のにじむような努力で築きあげた素晴らしい技術を理解されて、大変な期待をもって接骨院・整骨院に来院されます。心あるお医者様は「医接連携です」と大変協力的です。しかし、今、私たちの団体は昨今の新聞報道にあったような一部不心得者のために業界全体が厳しい状況にあります。われわれはこの国では専門分野である骨折や脱臼にも医師の同意がいる、問題のない肩こりや慢性の腰痛も診れない、何の資格もない整体師やカイロプラクターは勉強もそこそこで内科的疾患も広告もやりたい放題。こんな矛盾だらけの国にわれわれもおかしいと思って立ち上がらなければならないと思いましたし、こういうマスコミに報道に私は大変憤慨しました。黙って指をくわえてやられ放題ではいけないとやるせない気持ちで日々の生活を送っていました。私は『目には目を、歯には歯を』の精神で行くと思っておりました。しかし、一人の喧嘩ではありません。それでは本質的な解決にならないのではないか。本来の解決に眠れぬ夜を過ごしました。結論です。落ちた柔道整復師の値打ちを時間をかけて上げていくこと、襟を正すのはもちろんですが「今こそ、われわれ一人ひとりが国民から喜ばれ、必要とされる柔道整復師になる」という大変基本的な目標ですが一人が出来ることから一步一步、歩んでいくことが、大切なのではないかという結論に達しました。

松阪市防災訓練への参加活動

松阪支部だより

前川 雄一郎



今回の活動報告は、松阪市が主催する防災訓練への参加活動について報告します。

平成 21 年 10 月 4 日、午前 7 時 45 分に東海・東南海・南海地震が同時発生し、市内に多数の負傷者、避難者がでたとの想定で行われました。一般市民や、関係諸団体など合わせて約 2000 名が参加されました。本会の公益法人化への会の活動を内外へアピールするべく松阪地区の会員が参加した。市民のバケツリレーによる消火活動や、消防と自衛隊の協力による救助活動にまじり 市民センター体育館内に避難所設置後、市防災安全課から避難所での簡易間仕切り、簡易トイレ、非常食などの説明につづき、柔道整復師会として 30 分ほど時間を頂き「避難所生活におけるエコノミー症候群予防のためのストレッチおよび捻挫、打撲 に対する応急処置法 (R I C E 法)」の資料を配布して実演を交えての指導と説明を 避難所へ集まってきた市民の方々へ訓練参加会員で行った。現在松阪市とは「災害時の応急救護活動に関する協定」へ平成 21 年 12 月の協定締結 へ向け協議中です。



お悔やみ

平成 21 年 8 月 24 日 鈴鹿支部 中西孝之会員 ご尊父様告別式

退 会

平成 21 年 8 月 31 日 津支部 濱田浩二会員 自己都合により退会

お祝い



平成 21 年 8 月 30 日 津支部 日野 勝会員
ご結婚 おめでとうございます

会員紹介

平成 19 年 3 月に本会に入会しました鈴鹿支部 請井康人 先生をご紹介します。

施術所 : うけい接骨院

柔整師になった動機 : 学生の頃野球をしていて怪我をし始めて接骨院に通院しました。

その時に施術して頂いた先生に憧れ私もスポーツ外傷の患者さんを施術したいと思いました。

今後の施術 : 平成 19 年に中部接骨学会でも発表したのですが、スポーツ外傷により力を入れて施術したい。その為には医接連携を大切にしたいです。

趣味 : 野球・スポーツ全般

好きな言葉 : 継続は力なり

休日の過ごし方 : 野球や妻とのショッピング・旅行など

今後の目標 : 軟式野球の全国大会出場



平成 21 年 9 月 1 日に入会しました松阪支部 寺田喜和 先生をご紹介します。

施術所 : てらだ鍼灸整骨院

施術所住所 : 松阪市駅部田町 141-1

出身高校 : 三重県立松阪高等学校

出身専門学校 : 関西医療学園専門学校

免許 : 柔道整復師・はり師・きゅう師・按摩マッサージ指圧師

家族構成 : 父・母・妻・娘

趣味 : ゴルフ (打ちっぱなし程度)・ダーツ・読書・色々な勉強会に参加する事

目標 : 柔道整復師の技術を 1 年 1 年上達させる事



編集後記

今回、平成 21 年 7 月からの情報をまとめてお知らせしました。

新たな試みとして、「各支部だより」をお願いしましたところ、松阪支部より情報をいただきました。誠に有難うございます。

次回、平成 22 年 7 月末の発行を予定しております。

みなさまからのご意見・ご投稿お待ちしております。

(広報部長 伊藤昌夫)

広報誌の原稿及び、投稿記事につきましては、
(社) 三重県柔道整復師会 事務局

FAX (059)-222-3857

本会新メールアドレス : info@miejusei.com

また

本会新ホームページ

: <http://www.miejusei.com/>

もご覧下さい。